

令和 5 年度（2023 年度）

第 2 回

東海市都市計画審議会報告事項

東海市都市計画審議会

資料の訂正について

【資料1 東海市都市計画マスタープラン全体構想（概要）】

表紙

誤 計画年次：令和15年度（2023年度）

正 計画年次：令和15年度（2033年度）

10ページ

(2) 将来土地利用フレーム

① 住居系市街地の拡大が必要な面積

誤 目標年時

正 目標年次

25ページ

(3) 自然環境の保全・活用の方針

① 山林と丘陵部の緑地の保全・活用

2項目の3行目

誤 保全・活

正 保全・活用を図ります。

【資料1 東海市都市計画マスタープラン 骨子（案）】

27ページ

(2) 将来土地利用フレーム

① 住居系市街地

ア 市街化区域における増加人口

3行目

誤 それぞれ約3,000人、約8,000人の増加となります。

正 それぞれ約2,000人、約7,000人の増加となります。

28ページ

住居系市街地の拡大が必要な面積の表

誤 目標年時

正 目標年次

1 - 3 都市づくりの基本的課題

課題の整理

■住環境の充実

都市基盤整備された住宅地や郊外部の住宅団地などでは、これまで築いてきた社会資本ストックなどの維持・活用を図りつつ、緑化の促進など、住環境の充実を図ることで、ニューノーマル時代にも対応し、住み続けられる住宅地を確保することが必要です。

■豊かな自然環境の保全と活用

カーボンニュートラルの実現、都市環境や景観の向上、防災性の維持・向上を図るためには、本市に残された丘陵地の緑地帯、緩衝緑地やまとまりのある農地などの自然環境の保全と活用を図ることが必要です。さらに、やすらぎと潤いある生活環境の創出に向け、市街地内を流れる河川などの保全と活用を図ることが必要です。

■安心・安全で快適な暮らしの確保

未整備地区における生活インフラの充実や災害リスクに対する被害を軽減・防止する取組み、エコプロムナードの整備など、安心して安全な暮らしや市民の健康な暮らしを支える都市基盤整備を進めることや市街地内に残る都市的低・未利用地の住宅地化、歴史文化資源などの地区特性を生かした魅力あるまちづくりを進めることで、人口増や都市機能の集積を高めることが必要です。

■自家用車に過度に頼らない暮らしの実現

超高齢社会への対応、カーボンニュートラルの実現のため、充実した都市基盤（鉄道駅など）を活用するとともに、公共交通の利便性の向上や新技術の導入などにより、自家用車に過度に頼らなくても移動しやすい暮らしの実現が必要です。

■にぎわいのある拠点づくり

太田川駅周辺や加木屋中ノ池駅周辺は、本市全体の都市の拠点として重要な役割を果たします。周辺住民の広域的な交流のため、都市機能を維持・充実させ、地域・事業者とともに、魅力のあるにぎわいの場を形成することが必要です。

■持続的発展を支える都市活力の創出

都市としての活力を維持し、持続的な発展に向け、都市の成長を支えてきた既存産業の維持・高度化を図るとともに、広域交通体系整備のインパクトを生かした次世代産業などの新たな産業の誘導など、さらなる都市活力の創出に向けた取り組みが必要です。

新たな課題設定の項目

住環境の充実

自然環境の保全・活用

安心・安全の確保

にぎわいづくり

産業の活性化

市民アンケート結果
満足度：平均値を4段階評価
重要度を5段階評価

都市づくりの基本的課題

住環境の充実		
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ●● 高	① 都市基盤（道路網・駅前広場など）の整備が遅れている地区がある。
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●●● 高	② 都市計画道路の歩道は整備されてきているが、エコプロムナード（※1）などの整備が遅れている。 ※1 花・水・緑の基幹軸
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●● 高	③ 既存の住宅地や新たな市街地において緑地が不足している。
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ●●●● 高	④ 現在整備している加木屋中ノ池駅周辺において、商業施設や住宅地を引き続き整備を進める必要がある。
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑤ 道路、橋りょうなどの都市施設の老朽化が始まっている。
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑥ 既存の住宅地に狭あい道路が多いため空き家、空き地が残っている。
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●● 高	⑦ 市街化区域内に田畑などの都市的低・未利用地が多くある。
満足度 低 ● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑧ 新たな時代に対応した公共交通への新技術活用の検討が必要である。
自然環境の保全・活用		
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ●● 高	⑨ 地球温暖化に対応するため、カーボンニュートラルの実現を目指す必要がある。
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑩ 日常生活において水辺空間に親しめる場所が少ない。
安心・安全の確保		
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑪ 治水計画において河川・雨水排水施設の未整備区間が残っている。
満足度 低 ●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑫ 市街化区域内で災害対策（高潮、浸水など）の基盤整備ができていない地区がある。
満足度 低 ● 高	重要度 低 ●●●●● 高	⑬ 緊急車両の通れない地区が残っている。
にぎわいづくり		
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ● 高	⑭ 太田川駅周辺において広域的な交流をする施設が不足している。
満足度 低 ●●●● 高	重要度 低 ●●●● 高	⑮ 買い物など日常生活に不便な地区がある。
満足度 低 — 高	重要度 低 — 高	⑯ 市内の拠点となる地区に公共施設（市民館、敬老の家、児童館など）が集約されていない。